



研修便り



高知市教育研究所教職員研修班
令和5年9月15日発行 No.165

◆「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

令和5年度 栄養教諭・学校栄養職員研修会



対象：高知市立小・中・義務教育・特別支援学校 栄養教諭・学校栄養職員

令和5年6月30日（金）実施

講義・演習

「学校教育における食育の推進」

講師：兵庫県たつの市教育委員会 参事 清久 利和 氏

食は大切 食は楽しい



子どもたちに食の大切さや楽しさを伝える中で、食に関する自己管理能力を育成していきましょう。

食材を選んだり、調理したりすることが楽しい

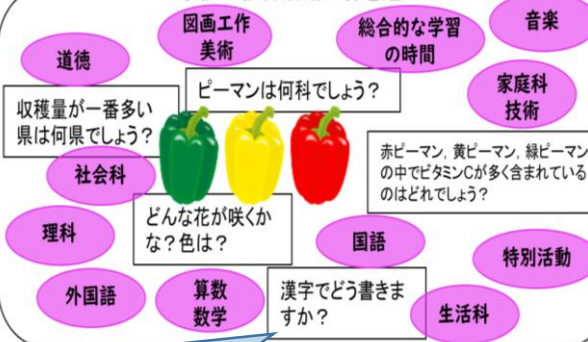
食のことが分かると楽しい

みんなで食べると楽しい



教科等における食に関する指導

学校の教育活動全体を通じて



「食」について意識するだけで、「食に関する指導」になる



文部科学省「食に関する指導の手引（第二次改訂版）」改訂のポイント

- (1) 食に関する資質・能力を踏まえた指導の目標の明示
- (2) 「食に関する指導に係る全体計画」の作成の必要性と手順・内容
- (3) 食に関する指導の内容の三体系と栄養教諭等の役割
- (4) 食育の推進に対する評価の充実

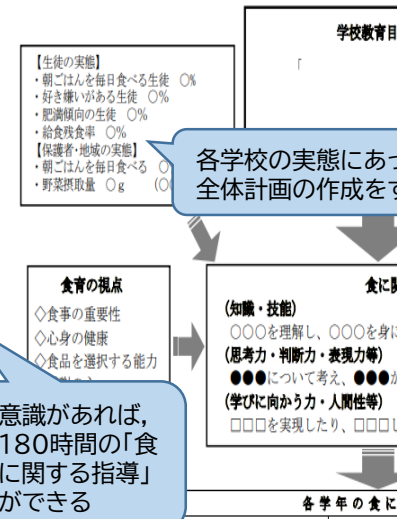
「食に関する指導に係る全体計画①②」の作成

食に関する指導

学習指導要領に位置付けられている

各学年が、どのような学習をしているのかを把握することで「教科等横断的」そして「学年をまたいだ」取組が可能になる

2 食に関する指導の全体計画①（中学校）例



2 食に関する指導の全体計画②（小学校）例

	4月	5月	6月	7月	8～9月
運動会	運動会				
委員会	委員会				
【教育委員・主体的に】	私たちが生活を支える飲料水【4年】、高知に住む人々の暮らし【5年】	私たちが生活を支える飲料水【4年】、高知に住む人々の暮らし【5年】	私たちが生活を支える飲料水【4年】、高知に住む人々の暮らし【5年】	私たちが生活を支える飲料水【4年】、高知に住む人々の暮らし【5年】	私たちが生活を支える飲料水【4年】、高知に住む人々の暮らし【5年】
理科	動物のからだのつくりと運動【4年】、植物の葉っぱと成長【5年】、動物のからだのつくり【6年】	動物のからだのつくりと運動【4年】、植物の葉っぱと成長【5年】、動物のからだのつくり【6年】	動物のからだのつくりと運動【4年】、植物の葉っぱと成長【5年】、動物のからだのつくり【6年】	動物のからだのつくりと運動【4年】、植物の葉っぱと成長【5年】、動物のからだのつくり【6年】	動物のからだのつくりと運動【4年】、植物の葉っぱと成長【5年】、動物のからだのつくり【6年】
生活	がっこうだいすき【1年】	がっこうだいすき【1年】	がっこうだいすき【1年】	がっこうだいすき【1年】	がっこうだいすき【1年】
家庭	おいしい楽しい調理の力【5年】	おいしい楽しい調理の力【5年】	おいしい楽しい調理の力【5年】	おいしい楽しい調理の力【5年】	おいしい楽しい調理の力【5年】
体育	たけのこくん【2年】	たけのこくん【2年】	たけのこくん【2年】	たけのこくん【2年】	たけのこくん【2年】
他教科等	茶つみ【3年】	茶つみ【3年】	茶つみ【3年】	茶つみ【3年】	茶つみ【3年】

カリキュラム・マネジメントの視点

成果指標と活動指標を設定し、総合的な評価につなげる→改善へつなげる

食育を進めるうえで大切なこと

- ★ 学校としての指導目標を設定
- ★ 児童生徒の実態の把握と課題を明確にする
- ★ 校長のリーダーシップのもと、栄養教諭等を中核とした全校体制、全教職員の共通理解が必要
- ★ 栄養教諭等と学級担任（教科担任）との連携

【受講者の感想】

- ・ 栄養教諭としての専門性の高い食育指導を、計画的かつ他教科と横断的に進めていくことが重要である。そのために、学校全体の方向性を見据えて、子どもたちと「食」をつなげるパイプ役として食育の中核を担うことがこれからの自分に求められる役割であると感じた。
- ・ 様々な調査結果から実態を把握し、食に関する指導の全体計画の見直しを行いたい。栄養教諭を中核とした指導体制を構築していくためにも、日ごろから先生方とのコミュニケーションを大切にしたい。



【研修】「性暴力から子どもを守る ～『生命の安全教育』実施のヒント～」

講師：兵庫県立尼崎総合医療センター産婦人科 NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご 理事 田口 奈緒 氏



子どもを取り巻く性の現状

- ・ 小学校高学年から中学生の性被害が最も多い。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行により、SNSを介した性被害が増えた。
- ・ 子どもの性被害は、子どもにとって身近な場所（家、幼稚園、保育園、学校など）で親や親族、知り合いから行われることが多い。

性のトラブル

メディアのフェイク情報

インターネットのトラブル

性の商品化



性教育を行う上で必要なことは、科学的根拠に基づいた知識です！

包括的性教育とは？



『国際セクシュアリティ教育ガイダンス（改訂版）』では、性教育を人権とジェンダーの平等という枠組みの中に位置付け、幅広いテーマ（八つのキーコンセプト）を包括的に扱う教育と示されている。年齢で四つのグループ（5～8歳、9～12歳、12～15歳、15～18歳以上）に分けられ、体系的なカリキュラムで継続的に学ぶことができる。

八つのキーコンセプト

- 1 人間関係
- 2 価値観、人権、文化、セクシュアリティ
- 3 ジェンダーの理解
- 4 暴力と安全確保
- 5 健康とウェルビーイングのためのスキル
- 6 人間のからだと発達
- 7 セクシュアリティと性的行動
- 8 性と生殖に関する健康

幼児期からの性教育の必要性

人権尊重がベース

例えば

- 6.1 性と生殖にかかわる解剖学と生理学
- 6.2 生殖
- 6.3 前期思春期
- 6.4 ボディイメージ

- 6.1 性と生殖にかかわる解剖学と生理学【5-8歳】
 - ・ 性と生殖に関わる器官を含む、からだの名称と機能について知るのは重要なことであり、好奇心をもつのは、自然なことである。
 - ・ 障がいのある人を含めて全ての人は敬意に値する、それぞれ異なるからだをもって

自分のからだの好きなところについて表現する（スキル）

人間のからだは、それぞれ素晴らしいと認識する（態度）

生命（いのち）の安全教育とは？

『生命の安全教育』とは、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を発達段階に応じて身に付けることを目指すもの

子どもたちが性暴力の加害者にも被害者にも傍観者にもならないような教育や啓発が必要

『性暴力』とは、あなたが望まない性的なこと。相手が誰であったとしても、あなたが望まない性的な行為はすべて性暴力。

どんな理由があっても性暴力は許されない

参考資料

- ① 学校で性暴力被害がおこったら
 - ② 文部科学省ホームページ『性犯罪・性暴力対策の強化について』
- バーチャル・ワンストップ支援センター ひょうご 「生命の安全教育」

- **コミュニケーションが大切！**
自分と相手はちがう人間なので、自分の気持ちも相手の気持ちも大切にしよう。
- **からだと心の境界線を知ることが大切！**
境界線とは、自分とほかを分ける線であり、安心と安全のために境界線を大切にしよう。



【受講者の感想】

- ・ 加害者にも被害者にもならないように、性教育を学校や家庭で幼児期から行うことが大切だと分かった。
- ・ 生命の安全教育は、単に性に関する学習だけでなく、人権や人格形成に関わるという認識が重要であることを学んだ。